

のどかな高麗の里山を歩く 日和田山・物見山

実施日 2013年9月29日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 渋谷 京子 SL 中村 友子
 参加者 友近洋子、一柳昭、山口俊三、涌井良明、山崎富美恵、鈴木恵美子、安田三恵子、小村井好枝、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、矢作多恵子、熊本紗江子、G(我妻) 計18名
 費用 1,020円(池袋起算)
 タイム 武蔵横手駅(9:50)五常の滝(10:20~10:30)分岐(10:45~10:55)北向地蔵(11:17~11:20)物見山(11:50~12:30)駒高(12:45~12:55)高指山(13:00)日和田山(13:15~13:20)巾着田(14:00~14:40)高麗駅(15:00)

秋晴れの日曜日、武蔵横手駅に18名が勢揃い。駅を右に国道を行くと道標があり左へと分け入る。山下の集落を抜けひんやりとした溪流沿いの車道を30分程で五常の滝を右に見る。

草の生い茂った道に入り丸太の二本橋が腐食している(3週間前は渡れたが)ので左側を選び思いっきり



ジャンプ!ここでアクシデント発生!!エ~こんなところで~私は右によろけてお尻が沢水にドボン・・おまけに右肩を打撲して散々な目に。

あ~あ、やってしまった、さてどうしよう、着干しも考えたがなんせ冷いし気持ち悪い。雨具のズボンに履き替え、気を取り直して出発~。

滝を後にして元の道に戻り暫く行くと道は二手に分かれる。どちらからも行けるが鎌北湖方面の道を右に分け、左の山道を進むと舗道に飛



び出し矢印の方向へ行くと再び山道へ。樹林帯を抜けると立派な北向地蔵が祀られており、しばし合掌。

道標に従い林を過ぎ一登りで物見山の山頂である。大勢のグループが所狭しと昼食タイム。展望はないが明るく開けていて、我々もお昼にする。

やや滑り易い急坂を過ぎるとやがて駒高の集落へ。茶店の先にあずま屋とトイレがあり、奥武蔵や奥多摩方面の山々が連なって見える。



自然遊歩道を進むと左に高指山のアンテナが見え、右に下りアップダウンを幾つか繰り返すと日和

田山へ一登りで山頂に到着。立派な宝篋印塔が鎮座し四等三角点も置かれている。展望は良く日高市街はるか彼方に新宿のビル群、微かにスカイツリーも目に留まる。

写真に納まり、岩混じりの道を下って行くと金比羅神社に辿り着く。

露岩の台地で神社の前は明るく開け、文字通りの巾着田が眺められる。

男坂と女坂に分かれ、岩場のある男坂を慎重に下る。先刻までの喧騒を離れしばし静寂の中に身を置く。鳥居を潜り緩やかな道を暫く進むとトイレの有る下山口へ到着。そしていよいよ今日のハイライト、マンジュシャゲは見頃を過ぎていたが夕陽に煌き、尚一層深紅の色濃さを増していた。木陰に円座しティータイム、思い思いに秋色を満喫した。



巾着田を後にして、道端の土産物屋を冷やかしながら朱色の「大將軍」と刻まれた標柱のある高麗駅に着いた。

今日はまさかの出来事でビックリさせてごめんなさい!参加された会員の皆様、有難うございました。たまには低山&里山ハイクもいいもので

すね~。また、ご一緒に!

(記・渋谷 京子)
(写真提供・涌井 良明)